

12月

としょうかんカレンダー

1月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	<6>	7	8	9
10	11	12	<13>	14	15	16
17	18	19	<20>	21	22	23
24	25	26	<27>	28	29	30
31						

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	<3>	4	5	6
7	8	9	<10>	11	12	13
14	15	16	<17>	18	19	20
21	22	23	<24>	25	26	27
28	29	30	<31>			

やすはお休みです。<>は夜7時まであいています。

としょうかん
図書館でできるよ!こんなこと



12月のイベント

ふるほん いち
「古本リサイクル市」

2日(土)~3日(日) 10:00~16:00

*3日(日)は15:00まで。気を付けてね。

かい
「おはなし会」

2日(土) 10:30~

きょうしつ
「おりがみ教室」「クリスマスかざり」

16日(土) 10:00~

かい
「クリスマス会」

17日(日) 10:00~

としょうかん
図書館にも サンタさんが やってくる!?

えいがかい
「映画会」

17日(日) 14:00~

「インサイド・ヘッド」

みんなの気持ちどんな気持ちがある? 11才の女の子ライリーは引越しをして...!?

さて、どんなお話かな? おたのしみに。

しん どくしょうかい
「《新》読書会」

24日(土) 10:00~

ほん しょうかい
おすすめの本を紹介しあうゲーム・ビブリオバトルやってみない!?

1月のイベント

かい
「おはなし会」

6日(土) 10:30~

みみ
「みんなであそぼっ!!」「耳だって すごいゾ!」

20日(土) 10:00~

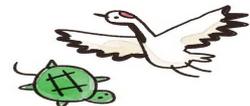
こんど き たいけん ほっけん
今度は聞こえるふしぎ体験! どんな発見ができるかな? 申しこみをしよう。



ねんまつねんし としょうかん やす
年末年始、図書館もお休みです。

12/29日(金)~1/3日(水)

やす あいだ へんぎやく かえ
お休みの間は、返却ポストへ 返すのは やめようね。



よ読んでみて！この本ダイスキ！！

よみものから

「唐木田さんち物語」

いとう みく (作) ・平沢 朋子 (画)

ぼく、唐木田志朗 小学5年生。姉ちゃん2人、兄ちゃん3人、ぼく、妹、弟の8人きょうだいと父ちゃん母ちゃんの10人家族だ。

そういうとたいていびっくりされるし、大家族っていわれるのは好きじゃない。大家族は大変、朝の洗面所やトイレは戦争だし、いやになることもある。

でも、誰かいなくなるとぽっかり穴があいて胸がすうすうする。そしてその穴は他の人ではうめられないんだ。

家族ってやっぱりいとおしくて特別なものだって思うんだ。(山本)

えほんから

「クマと森のピアノ」

デイビッド・リッチフィールド (作)

ある日、クマが森の中でピアノを見つけ、毎日弾いているうちにクマの仲間が集まってきました。ある晩、人間の親子に「街へ行こう」と誘われたクマは迷いましたが、音楽が聴きたくて街へ行きました。

ピアニストになったクマは、スターになりましたが何か足りないことに気づきました。

森へ帰ったクマは、元の空き地に誰もいないのを見て忘れられたとさみしく思った時です…さて、だれに会ったかな？ (高田)

冬休みのおたのしみ 「図書館の達人教室」

12/9(土)・12/16(土) 13:30~

図書館のヒミツを知りたくない？2回の教室をクリアして「達人」になろうよ！

達人になれたキミは…12/26(火) 一日図書館員にチャレンジだ♪

くわしいことはカウンターで聞いてみよう。

今年度もがんばっていますか？

「としょかんクイズ」⑤

クイズと読書に挑戦だ！！

10月号のクイズはクリアできたかな？今回はね…

① 図書館で奇数月(1・3月) 第3土曜日の朝にある行事の名前わかるかな？

② さて、その行事は何時から始まるのかな？

① 行事の名前 ②はじまる時間を答えてね。

読んで楽しかった本、読めてよかったという本も

冬休み号では…

町内の保育所・幼児園・幼稚園・子育て支援センターの先生に

おすすめ本を紹介して

いただきました。

なつかしい先生たち！

何をすすめてくれているかしら？

*今回は「としょかんだより」の

「この本、おすすめ⑥」と合併号です。

ぜひ読んでみましょう！

10月号(第38号)の答え

① 「おりがみ教室」。

② 朝「10:00から」はじまるよ。

まだ参加したことないよという子もぜひのぞいてみてね。できあがると、とってもうれしくなるよ☆

おはなしキャラバンカーがやってくるよ！ (12/20(水) 15:30~16:35)

みんなの大すきな絵本をたくさん乗せて、ちょっとめずらしい車が来てくれるんだ。おはなし会もしてくれるよ♪



『もみの木のねがい』

(エステル・ブライヤー/ジャンニ・ニコル(再話)・こみね ゆら(絵))

ちいさなもみの木は 自分のちくちくとげとげしたはっぱが いやで たまりませんでした。ようせいに たのんで ちがうはっぱに かえてもらいましたが、どんな はっぱになっても 幸せには なれませんでした。それで とうとうもとのすがたに もどしてもらいました。でも このちくちくとがった はっぱをもった もみの木に ふさわしいやくわりがあつたのです。それは…。

(山本 和子)

『サラとピンキー ヒマラヤへ行く』(富安 陽子(作・絵))

主人公は少女の「サラ」と子ブタのぬいぐるみの「ピンキー」。ある暑い日のこと、涼しさを求めて マイ飛行機に乗って やってきたのはヒマラヤ山脈。なぜか雪の上にリンゴが一つ落ちていて、取ろうと飛びついたら 穴に落ちちゃった。そう、わなにかかったのです。サラとピンキーは これからどうなる？

(高田 宏美)

『冬眠のひみつ からだの中で何が起きているの?』(近藤 宣明(監修))

冬眠って ただ 眠っているだけだと思っていない!? エサを食べて、ウンチをする動物もいれば、ただ じーっとしている動物もいる。冬眠中に あかちゃんを産む生き物もいる。厳しい冬を 生きぬくための、生き物たちの いろんな工夫を紹介しているよ。さて、シマリスの冬眠中の体温は 何度でしょう? 本を ひらいて 調べてみてね。答えを知ったら きっと びっくりするよ!

(笠井 幸)

『動物の見える世界』(ギョーム・デュプラ(著))

「みんなであそぼっ!」の科学体験教室に 参加してくれた子たちは もう知っている本。暗くても よく見える目を持っていると言われているネコの目。

…じつは近眼なんだって知ってる!?

この本を見ると、動物たちの見える世界が どんな世界か 分かってくるよ。

みんなが見ている世界と どうちがう?? あなたの好きな動物は? 虫は??

大人が見ても 楽しめるし、きっと 新しい発見がある本。冬休み、ぜひ親子で♪

(木下 明子)

『せなかのともだち』(萩原 弓佳(作)・洞野 志保(絵))

ある日 おこりんぼうのハリネズミが いじのわるいヒツジの せなかの上に 落ちてしまい、背中のモコモコから 出られなくなってしまいました。

ほかの動物たちに 声をかけたけれど、えらそうな たいどなので だれも助けてくれません。

けっきょく、くっついたまま となりの森へと 旅していきますが

だんだんと ハリネズミの元気がなくなり、さすがのヒツジも 心配になってきました。

「だれかに お願いしないと大変だ。やさしくするには どうしたら…。」

やっと 二人は 協力すること、思いやる気持ちに気づきました。

(高橋 美春)



『はらぺこあおむし』（エリック・カール(さく)）

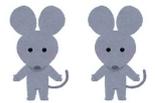
この絵本は有名な作品で、たくさんの人から愛されています。食いしん坊のあおむしが、美味しい食べ物を食べながら大きくなっていくお話です。私が勤めている保育園の子どもたちもこの絵本が大好きで、場面が変わるたびに嬉しそうな表情を浮かべ、楽しい気持ちになっているのがよく伝わってきます。そして、私自身もこの絵本から命の繋がりを感ずることができています。

カラフルで、ページを開くだけでワクワクしてくる絵本です。是非一度、手にとってみて下さい。
(土庄保育園 川崎 和矢先生)

『ぐりとぐら』（中川 李枝子(作)・大村 百合子(絵)）

この絵本は子どもの頃、先生がよく読んでくれて一番印象に残っている絵本です。料理が大好きな2匹が大きな卵をどんな料理にするか考えたり、2匹だけでなく森の動物にもカステラを分けて食べるというお話。1人では出来ないことも2人やみんながいればなんでもできるということを改めて感じました。

シリーズで出ているので他の絵本も楽しんでみてください。



(土庄保育園 岡 亜起先生)

がちゃ



『がちゃがちゃどんどん』（元永 定正(作)）

子どもたちが大好きな一冊。音が目に見えるように、単純な形と鮮やかな色で描かれています。少しおしゃべりができる子どもたちは「ぼきん」「ぴーいっ」「ぶ」など、真似っこを楽しみながら喜んで見えています。いろいろな音といろいろな形がたくさん！単純だけど楽しい絵本です。

(愛の園保育所 岡井 絵里子先生)

『さつまのおいも』（中川 ひろたか(文)・村上 康成(絵)）

いもほりの時期にぴったりの絵本です。おいもが土の中で人間と同じように生活していて、ごはんを食べたり、お風呂に入ったり、トイレや歯みがき、トレーニングや水泳をするところがおもしろいです。そんなおいもを子どもたちがぬくと、子どもたちが勝ちますが、やきいもを食べてくさいおならが出て、最後はおいもが勝ちます。

(双葉保育所 湊 由香子先生)



『だるまさんが』（加岳井 広(作)）

読んでいると自然と体が動き出す子どもたち。“どてっ”と転んだり“びよーん”と伸びたり。いつもまねっこして楽しんでます。最後の“にこっ”はとってもいい顔をしてくれるので読んでいる方も笑顔になれます。

(双葉保育所 三木 千秋先生)

ほいくしょ しえん せんせい ほん
保育所・支援センターの先生からおすすめ本

『やきいもするぞ』（おくはら ゆめ(作)）

いま きてつ にぴったりな一冊です。もりは おちば だらけ、はたけ はおいもだらけ。
「やきいもするぞ、エイエイオー！」の森の動物たちのかけ声と表情が何とも言えません。
食べた後はおなら大会！おいもの神さまも現れ、絵のところどころに隠れているので、
神さまを見つける楽しさもありますよ!!



(愛の園保育所 やまもと ひとみ 先生)

『かさじぞう』（ひろまつ ゆきこ(文)・まつなり まりこ(絵)）

「かさじぞう」よくご存知の昔話。おじいさんとおばあさんのやさしさに心癒されるお話ですね。我が子が小さい頃、寝かしつけの時などによく語り聞かせた記憶があります。娘も温かい布団の中でほっこり聞いていました。話している自分もやさしい気持ちになりました。だんだんと読む機会が少なくなった昔話ですが、改めて読んでみると、やっぱりほっこりします。

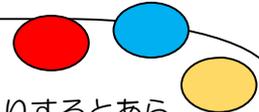
子育て中のお母さん、昔話を読み聞かせのリストに加えてみませんか。



(子育て支援センター いしはら えみ 先生)

『まるまるまるのほん』（エルヴェ・テュレ(作)）

諸石さんのお話し会で出会った絵本です。3色の色を押ししたりゆらしたりするとあら不思議！色が変わったり増えたり傾いたり…見ている子どもたちは次どうなるのかドキドキワクワクした表情で見えています。子どもが参加できるタイプの絵本なので、毎回盛り上がり、読んでいる側も楽しい一冊です。



(双葉保育所 みうら あき 先生)

『「ちびっこ吸血鬼」シリーズ』

(アンゲラー・ゾンマー・ボーテンブ(作)・ひらい たかこ(絵)）

勉強嫌い本読まない小学生だった私が唯一はまって夢中で読んだ本です！
内容はあまり覚えていませんが、人間の男の子とバンパイアの兄妹が出てきて、夜の街でおこる出来事に、いつもわくわくして読んだ記憶があります。

これを書いていて久しぶりに読みたくなりました。

(双葉保育所 しおみ あや 先生)

*今では改題されて「リトル・バンパイア」シリーズになっています。



ようちえん せんせい ほん
幼稚園の先生からおすすめ本

『たからもののあなた』（まつお りかこ(作・絵)）

お母さんのことが大好きなウサギの子どもと仕事や家事で忙しいお母さんの姿が描かれた絵本です。共働きのお家庭が増え、保育所や幼稚園で長時間過ごしている子どもがいる現代だからこそ、共感できる部分があるのかなと思います。私も一人の親として、わが子をぎゅっと抱きしめたくくなりました。

(土庄幼稚園 坂本 美沙希先生)



『もりのおふろ』（にしむら としお(作)）

もりのおおくでおふろがわいています。ライオン、ゾウ、ワニ…といろいろな動物たちが、“ごしごし しゅっしゅ ごしごし しゅっしゅ”とみんなで輪になり背中を洗いっこ。最後はみんなで“おふろへ どぼーん”。みんなでなかよくおふろに入る姿からは、しあわせな気持ちがあらわれています。

(浏崎幼稚園 大川 和希先生)



『ねずみくんのチョコッキ』など「ねずみくんシリーズ」

(なかえ よしを(作)・上野 紀子(絵)）

やさしさあふれるねずみくんが、動物たちとのやりとりから様々な感情を体験していくユーモアたっぷりのお話です。文字は少なくシンプルな絵本ですが、動物たちの動きや表情は繊細に描かれており、心の動きが手にとるように伝わってきます。園の子どもたちも日常に味わう様々な想いと動物の気持ちとを重ねていますひとやものを大切に思う感情が育まれているように感じます。

(浏崎幼稚園 上原 宏昌先生)



『あのね、サンタの国ではね…』（かのう じゅんこ(文)・くろい けん(絵)）

子どもたちが大好きなサンタクロース。サンタさんがクリスマスにプレゼントを届けてくれるまで、サンタさんの住む国では大忙しで準備をしてくれています。そんなサンタさんの生活が分かり、よりクリスマスが楽しみになる絵本です。

(四海幼稚園 山本 真由美先生)



ようじえん せんせい ほん
幼稚園の先生からおすすめ本



『11ぴきのねこ ふくろのなか』（馬場 のぼる(著)）

この絵本は、私はもちろん子どもたちも大好きです。11ぴきのねこたちが遠足に行くお話ですが、道中にいくつもの立て札があります。その立て札に書いていることと反対のことをして進んでいくという子ども心をくすぐるお話になっています。ワクワクと楽しみながら読める絵本です。

(大部幼稚園 石床 真菜先生)

『ねずみのいもほり』（山下 明生(作)・岩村 和朗(絵)）

7つこのねずみたちが、お父さんの手作りスコップを持って芋掘り大会に出かけます。このスコップはそりすべりやケーブルカーに変身する“スペシャルスコップ”です。みんなで力を合わせて掘った大きなお芋は、見事一等賞に！さあ、どうやって持って帰ろう！？最後までわくわくがっぱいの絵本です。

(大鐸幼稚園 西山 美弥先生)



『ぴよんはぴよん』（よこた きよし(作)・いしい つとむ(絵)）

3, 4歳児に読み聞かせをしました。ぴよんのお母さんが「〇〇さんはすてきね」というたび、子どもたちの顔がニコツとなりながら聞いていました。絵本の後で、友だちのすてきなところや好きなところを発表しあったり、保育者から一人ひとりに伝えたりしました。目の前の子どもたちに、「あなたはあなたでいいんだよ」と伝えてあげたくなる1冊です。

(北浦幼稚園 山本 遥先生)



おもしろい本、かわいい本…

たくさんのお本が集まりました。

まずはどの本から読もうかと迷いますね。

いろいろな本を読んで、おともだちやおうちの人と

本の話をしてみるのも、楽しいですよ♪

読んだ感想を紹介してくれた先生と

おはなしするのもいいですね。



★紹介本は1月末日まで展示・貸出もしています。